

牛の放牧履歴集計プログラム「GRT」

牛の移動等を記録した野帳から、牧区別、個体別の放牧履歴を集計するプログラムを開発しました。小規模移動放牧実施経営等で、圃場別に月別の放牧頭数や牧養力、個体別の放牧履歴の把握が可能になり、放牧管理の充実や水田放牧助成制度における実績報告等に利用できます。

☆ 技術の概要

- 「GRT」は、Microsoft Excel (Version 2007以降) のアドインツールであり、牛の移動日、移動元圃場、移動先圃場、移動頭数、個体名を記した野帳から、これらの情報を GRT の野帳の転記シート (図 1) に入力することにより、個体別、牧区別、月別の放牧履歴が集計できます。
- 図 2 は圃場別の月別の放牧頭数の集計結果のシートの一部です。各牧区の面積をもとに、牧区別に月別の牧養力 (面積当たり放牧延べ頭数) を把握でき、草種、排水条件等との関連を整理することにより、牧養力向上に向けた草種選定や排水改善等の基盤整備、放牧期間を通した可食草の安定供給と放牧期間の延長等、放牧向け草地管理の充実に利用できます。

	A	B	C	D	E
1	年月日	どこから	どこへ	頭数	個体名
2	2012/4/1	牛舎	B4	2	しげくら3/ちよ11
3	2012/4/1	牛舎	B1	3	ちよ1/ちよ4/しんちよ303
4	2012/4/1	牛舎	C4	2	しげくら285/さくらこ2
5	2012/4/6	B4	B1	2	しげくら3/ちよ11
6	2012/4/15	B1	C5	2	しげくら3/ちよ11
7	2012/4/15	牛舎	B1	1	しんはなや221
8	2012/4/27	C5	C2	2	しげくら3/ちよ11
9	2012/4/27	C4	C3	2	しげくら285/さくらこ2
10	2012/4/28	B1	A	2	ちよ1/ちよ4
11	2012/4/28	牛舎	B1	1	きたくに
12	2012/5/5	C2	C6	2	しげくら3/ちよ11
13	2012/5/6	牛舎	C4	1	790ゆゆり2
14	2012/5/8	牛舎	C4	2	ひめゆり2の1/しんはなや2の2
15	2012/5/9	C3	F	2	しげくら285/さくらこ2
16	2012/5/11	A	B4	2	ちよ1/ちよ4
17	2012/5/20	B1	C4	1	きたくに
18	2012/5/20	牛舎	B1	1	しんはなや2の1

	A	G	H	I	J	K	L	M	N
1	牧区名	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2	A	33	0	21	9	38	14	0	144
3	B1	36	97	124	120	86	20	0	691
4	B4	2	6	0	14	0	0	0	54
5	C1	23	24	0	24	0	11	0	82
6	C2	88	26	4	45	12	0	16	216
7	C3	29	16	28	14	12	0	0	123
8	C4	38	76	36	43	35	17	18	397
9	C5	0	0	0	0	0	0	0	24
10	C6	60	12	24	40	12	0	15	215
11	C7	0	0	33	21	55	14	0	140
12	C8	0	32	26	0	48	13	0	119
13	D1	0	0	0	0	12	0	0	12
14	D2	0	0	0	24	0	0	0	24
15	D3	0	0	0	26	48	14	0	88
16	D4	0	0	26	10	36	0	0	72
17	E	0	0	0	0	38	60	16	114
18	F	60	62	62	60	30	0	0	318
19	全牧区	369	351	384	450	462	163	65	2833

図 1 必要な牛の移動記録と入力シート

図 2 牧区別・月別の放牧頭数の集計結果シート

☆ 活用面での留意点

- 生産者は牛の移動を野帳等に記録し、普及指導機関や研究機関が GRT を使って放牧履歴の集計・分析を行い、それを基に放牧管理充実に向けた対応を協議する等、相互のコミュニケーションツールとして活用することが期待されます。
- 生産者は、牛の牧区移動の履歴管理や草地管理計画の策定のほか、水田放牧 (水田活用の直接支払交付金) に関わる実績報告書の作成に活用できます。
- 本プログラムは、利用マニュアルとともに、中央農業総合研究センターの「経営管理システム」のウェブページ (<http://fmrp.dc.affrc.go.jp/>) からダウンロードできます。

(近畿中国四国農業研究センター 上席研究員 千田雅之)